

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

| | |
|---------|--|
| 部 会 名 | 片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会 |
| 会 議 名 | 令和6年度 第4回片瀬・江の島まちづくり協議会 |
| 開 催 日 時 | 2024年8月22日(木) 午後6時00分から午後8時30分 |
| 開 催 場 所 | 片瀬市民センター ホール |
| 出 席 者 | 委 員：17人(総数20人) 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、山岡委員、馬場委員 阪井委員、三嘴委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 小原委員、甘粕委員、金子委員、山本委員、矢島委員 岡野委員、飯森委員 欠席者：岩田委員、上條委員、山口委員 市(都市計画課)4人 堀田主幹・與安補佐・柏木上級主査・吉野主任 事務局：7人 森井センター長、高橋主幹、下間、渋谷、柴田、脇田、木村 |
| 報 告 | 3 報告 (1) 藤沢市都市マスタープランの改定について(都市計画課) 配布資料のとおり都市計画課から概要説明。 質問については会議時間確保のため、後日記入して提出いただくこととしたい旨、事務局より説明。 (2) 前回全体会について 事務局から資料2のとおり説明。内容をご確認いただき、修正点等あればお知らせいただきたい。 (2) 地域団体からの報告 [委員(生活環境協議会)] 夏期片瀬海岸周辺ごみ拾いキャンペーンの案内。今年度は8月中旬に3回実施予定。(2回は実施済み)今年度は昨年までに比べてゴミの量が多く、特にペットボトルや缶が多い傾向があった。 7月に埼玉県立川口工業高校清掃部との交流を行ったことの報告。 [委員(民生委員児童委員協議会)] 6月に実施した後期高齢者調査は無事に完了した。 9月25日(水)及び26日(木)に実施予定の敬老会の案内。 今年度は、しおさいセンター体育室にて片瀬地区社会福祉協議会と共同で実施予定。 |

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">報 告</p> | <p>[副会長（地区社会福祉協議会）] 9月6日（金）実施予定の「災害と福祉 助かった命、その先を生きる」の案内。実際に能登半島地震の支援活動をした藤沢市社会福祉協議会の職員の支援報告を聞く予定。 敬老会については、委員が案内したとおり。</p> <p>[委員（防犯協会）] 9月6日（金）実施予定の第55回地域安全県民安全の集いの案内。今回は青少年支援フォーラムとの連名表彰という形で、青少年支援フォーラム会長の渡邊智恵子氏が表彰される予定。</p> <p>[委員（スポーツの会）] 7月27日（土）に実施された片瀬小学校150周年イベントにて焼きそば屋台を出店した。 9月22日（日）実施予定のモルック大会の案内。</p> <p>[委員（青少年育成協力会）] 7月19日（金）に実施したデーキャンプの報告。校庭や体育館での各種ゲームの実施やキャンプファイヤーを行った。 11月16日（土）実施予定の球技大会の案内。 7月中に実施した潮の子フォーラム及び夏期江の島周辺夜間パトロールの報告。</p> |
| <p style="text-align: center;">議 題</p> | <p>4 議題</p> <p>(1) 公募委員の打合せ結果報告について 第3回全体会から公募委員間の打合せを2回実施し、今後のまちづくり協議会の取組等について協議を行った。その結果を踏まえて、本日の議題の進め方について説明。</p> <p>ア 今年度の取組について（部会等の検討） 既存の部会や公募委員の打合せで協議した取り組み案を別紙3のとおりまとめた。公募委員若しくは事務局から取り組み案をそれぞれ説明させていただき、今年度の取組事業を3事業に絞っていききたいと事務局としては考えている。ただし、今後必要に応じて増やしていくことも必要な場合はその都度全体会で協議していくこととしたい。 まずは、事業を3つ絞ることについて委員の皆様からのご意見いただきたい。</p> <p>【質問・意見】 [委員] 3つの事業に絞るという事務局からの提案だが、6つの事業は公募委員それぞれが実施したい事業として挙げているため、3つに絞るのではなく、6つ全てのWGをひとまず協議してい</p> |

き、3か月後を目安に部会化するか等の方向性を決めていけばいいのではないかと考える。

ただし、青少年健全育成部会は青少年関係の地域団体でひとまずは構成しているため、その地域団体で実施していない事業を実施してみてもどうか。

[委員]

今回は公募委員の方々に実施したい事業を提案していただくように全体会でお願ひした背景があるため、公募委員の意見を尊重するべきと考える。

一点確認したいのだが、先程の委員の意見は公募委員の総意の意見という認識でよいか。

[委員]

公募委員の半数は同じ考えだと認識している。

[会長]

ひとまずは、委員単独の意見だけではなく、公募委員間の打合せにて検討した内容を伺いたい。

[事務局]

会長から提案いただいたとおり、ひとまずは公募委員の打合せにて協議した取り組む内容を担当の公募委員から説明いただくこととする。まずは、片瀬&江の島歴史文化見直しWGから説明いただきたい。

〈片瀬&江の島歴史文化見直しWG（委員）〉

配布資料のとおり説明。藤沢市都市マスタープランの中でも片瀬地区は「歴史文化を残した～」という記載が数多く見受けられたこともあり、片瀬地区において歴史や文化の継承は重要であるため、旧郷土文化推進部会を引き継ぐ形でこのWGを発足させたいと考えている。

事業の進め方については、まず、意見交換から始めたいと考えており、ゆくゆくは片瀬地区ならではの歴史文化遺産の見直しを行い、次世代に残すべきものを整理することとしたい。

〈ごみとマナー向上を考えるWG（委員）〉

資料3のとおり説明。片瀬地区は観光地特有のごみ問題があり、この問題について完全消滅は不可能だが、減らすことは可能。

ただし、地域で根本からの解決は難しいため、県・市等の行政に申し入れを行うことを一つの着地点として実施していきたいと考えている。観光に対してのマナーの周知活動も併せて行っていきたいと考えている。

〈生活防災を考える WG（委員）〉

課題等については資料3のとおり。片瀬地区では既に、自主防災協議会等の団体の防災の取り組みをそれぞれ実施していると伺っているが、全体的に参加者数が少ないことが大きな課題となっていると聞いている。

そのため、本事業を通じて若年層を取り込むことが重要と考えている。具体的な取り組み事項は別途配布資料に記載のとおり。

〈広報 WG（事務局）〉

資料3のとおり説明。本来なら委員から説明いただくことになっていたが、本日欠席のため事務局から説明。

大きな目的として「世代を超えたつながり」を構築することを目標とし、ポータルサイト等の情報発信プラットフォームの見直しや数ある地域団体の情報発信の手助けとなるような活動を展開していきたいと考えている。

〈片瀬山公園有効利用を考える WG（委員）〉

片瀬山公園は指定緊急避難場所（大規模火災）にも指定されており、もっと有効利用していくべきと考えている。

行政との連携が必須の案件なので、市民センターにも協力をお願いしたい。

〈青少年健全育成部会（事務局）〉

資料3のとおり事務局から既存事業の内容を説明。近年、子ども関連ニュースが多いため、社会的に関心が高い。

片瀬地区には青少年関連の地域団体が多いため、団体間の連携も維持しつつ、子ども関連の課題に対して取り組める事項を模索していきたい。

【質問・意見】

[委員]

片瀬山公園の土地は市有地ではなく借地であるため、市も着手できないと聞いているが。

[委員]

現状把握の中で権利関係を確認していく。全部が龍口寺の土地ではない。

[委員]

青少年関連はプライベートに踏み込む問題等もあるため、地域住民が取り組む案件ではないと考える。

[委員]

青少年健全育成部会については、青少年関連の地域団体間の情報交換の中で、取り組める案件を模索してきた。あくまで地域でできることを考える場であり、そこまで難しい案件ではない。

ただ、既に青少年関連の地域団体は常々連携をしているため、まちづくり協議会として実施するかは検討が必要と考える。

[委員]

公募委員の打合せにて、まちづくり協議会として課題を6つ挙げていただいたのであれば、わざわざ3つに絞らなくてはいいのではないか。

ただし、委員が実働部隊になると大きな労力が必要になるため、できるできないの観点ではなく、片瀬地区として課題となるべき事項であれば、取り組む方向で検討してもいいのではないか。

[委員]

地域団体からの委員は現状把握のために、加わっていただきたい。

[事務局]

第3回全体会にて、地域団体からの委員は部会やWGへの参加は任意という形で承認をいただいたところである。そのため、先程の意見はあくまで委員の希望という形で受け取っていただきたい。

[委員]

6つの事業をすべて実施するという案も挙がったが、2年間ですべての事業を進めることは大変である。そのため、3つに絞る事務局案は2年間の中で注力すべき事業を選択するということであり、その考え方も良いのではないかと感じた。

青少年健全育成部会については、子どもたちの居場所づくりを推進してきた。これまでの活動で一定の成果は得られたと考えている。

[事務局]

事務局としては、マンパワーを発揮できる事業数を精査した結果、3つくらいが妥当と考えた。

[委員]

6つをすべて実施するのではなく、あくまで検討に特化したWGとして6つをスタートさせるという認識をしていただいた

い。

[副会長]

公募委員からの説明はどれも興味深いと感じた。これまでの議論等を踏まえて、青少年健全育成部会と片瀬山公園有効利用を考えるWG以外の4つのWGでスタートするのがいいのかと感じた。

[会長]

片瀬山公園有効利用を考えるWGは、市役所の予算の問題や市政の方針も絡んでくるため、取り組みは難しい。

藤沢市の大きな課題として、デジタル化の推進が挙げられる。自治町内会連絡協議会ではデジタル化に後ろ向きな方も一定数いた。公募委員からの事業説明の中でもデジタル化の推進に関連した部分もあったので、まちづくり協議会から推進してもいいと感じた。

絞り方については、まちづくり協議会として必要かどうかという視点で決めていけばいい。ただ、実施事業を絞った結果、青少年健全育成部会が外れてしまったとしても、青少年関係の問題がなくなったわけではないので、各WGでもそれぞれ議論していくべき。

[委員]

片瀬山公園は指定緊急避難場所なので、防災の枠組みの中で取り組んでも良いのではないかと感じた。緊急避難する場合に、海側から上がれないのは利便性の観点からとても課題があると感じた。

[委員]

片瀬山公園は市が指定緊急避難場所として指定しているが、避難対象者が地区毎に指定されているため。片瀬地区全体の課題ではない。防災の視点から進めるのであれば行政との話し合いが必須の案件だと感じた。

[事務局]

まちづくり協議会で使える予算について情報提供させていただく。お察しのとおり、今年度の予算は確保できていない。そのため、来年度に向け9月中を目途に予算要求していく必要がある。ただし、要求したところで、予算が必ずつくとの確証はない。

これからは、企業協賛等でお金を確保していく等、どうしたら実施できるかという視点で取り組んでいく必要がある。

[事務局]

絞り込むという提案をさせていただいたが、地区内で課題が見つければ、その都度全体会で議論していき、その結果、部会化しても良いと考えている。

[委員]

青少年健全育成部会が仮になくなってしまったとしても、それぞれの地域団体で出た課題を全体会にて都度揉んでいけばいいのではと感じた。

[委員]

片瀬地区は子ども関連の団体が充実している。ただし、表面に現れていない課題があると思うので、全体会の場で議論させていただく方向で良いと感じた。

そのため、事務局や副会長からの提案のあったとおり、4つの事業絞って実施する方向で良いと考える。

[委員]

4つの事業に絞って実施するとしたら、委員全員がどれかのWGに必ず絡んでいただきたい。少数だと議論にならないため。

[委員]

まずは絞ることから始めたほうがいいのではないかと。

[事務局]

議論のまとめをさせていただく。4つの事業で進めていくということによろしいか。

【決定事項】

異議なし。青少年健全育成部会と片瀬山公園有効利用を考えるWG以外の4つの事業で進めていく。

イ 所属する部会について

先程、委員から発言があったとおり委員がどれか一つのWGに必ず所属しなければならない点について意見を伺いたい。

[副会長]

その議論については、事務局から説明のあったとおり過去の全体会で整理したため、あくまで委員のお願いベースということにしていきたい。

また、各WGは協力員として委員以外からも参加者を募ることも可能。

[委員]

JJBC 等で協力員をやっていた方にやっていただくのはどうか。

[副会長]

協力員については、人数制限がないため地域から何人でも募ることは可能。

そのため、今まで JJBC 等に所属していた協力員を配分するとい認識ではなく、新たに募っていくという認識。

[事務局]

地域団体選出の委員については、WG への所属は任意としているが、複数の WG に所属していただく分には問題ない。

議論の整理ができたので、所属する WG についての希望を取らせていただく。

【決定事項】※敬称略

- ・片瀬&江の島歴史文化見直し WG
→岡田、阪井、小原、金子、飯森、岡野、(上條)
- ・ごみとマナーの向上を考える WG
→矢島、藤原、山本
- ・生活防災を考える WG
→山岡、畠山、馬場、甘粕、塚田、徳江
- ・広報 WG
→(上條)、澁谷、山岡、岡田

※欠席の委員については、事務局から後日聞き取りを行う

ウ 各部会の日程について

続いて、各 WG の初回の打ち合わせの日程を決めていただきたい。

【決定事項】

- ・片瀬&江の島歴史文化見直し WG →
9月13日(金)18時～
- ・ごみとマナーの向上を考える WG →
9月4日(水)16時～
- ・生活防災を考える WG →
9月2日(月)10時30分～
- ・広報 WG・・・未定(委員重複のため)

※初回の打合せでは、WG の目標やスケジュール、目標に対する来年度予算要求する項目等についても協議いただきたい。

エ 令和6年度片瀬・江の島まちづくり協議会について

(ア) 市関係各課からの説明について

会議時間確保のため、本日と同じような形式で説明資料及

| | |
|-----|---|
| | <p>び質問票を事前に配布し、当日説明に対する質問以外については、後日担当課より回答する運用としたい。</p> <p>【決定事項】 異議なし。</p> <p>(イ) 各団体からの報告について 会議ごとに各委員に配布している地域回覧一覧については、会議始まる前にテーブルにそれぞれ置いておき、必要な分を各自で取っていく運用としたい。</p> <p>【質問・意見】 [副会長] 各団体からの報告は、会議時間確保のため、地域回覧に記載があるものは報告を省く等、報告時間を短くできるよう、各地域団体からの選出委員におかれましてはご協力をお願いしたい。</p> |
| その他 | <p>5 その他 次回の全体会は9月19日(木)となっているが、会議開催の時間をここで決めたい。今までは、できる限りたくさんの委員が集まれる時間として、18時からの会議開始としていたが、委員の皆様の意見を伺いたい。</p> <p>【質問・意見】 [事務局] 15時30分開始でいかがか。</p> <p>[委員] 夜間の会議でないと参加できない委員が複数いる(山岡委員・岡田委員・矢島委員・山岡委員・小原委員)</p> <p>[委員] 山口委員は夜間会議の参加が難しいため、配慮したほうがいいのでは。</p> <p>[委員] それぞれ意見があると思うが、個人的には昼間のほうが良い。昼間と夜間で交互に開催したらどうか。</p> <p>[委員] 今回の全体会に参加している委員は夜参加できる委員が集まっているので、いない人の意見が無視されている。昼間と夜間の半々がいいのでは。</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>[委員] 公平性の観点からも半々が良い。奇数月は昼間、偶数月は夜間開催などにしてはどうか。</p> <p>[委員] 土日の開催はどうか。</p> <p>[会長] 土日開催だと事務局が大変になる。</p> <p>[事務局] 決を採らせていただきたいが、いかがか。</p> <p>[委員] 決の採り方は、「来月の開催時間は昼間にするか」というやり方にしてはどうか。</p> <p>【決定事項】 次回全体会は昼間の開催とし、開催時間は15時からとする。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |
| <p style="text-align: center;">次回会議 開催日時・場所</p> | <p>次回全体会 日時 2024年（令和6年）9月19日（木）午後15時から 場所 片瀬市民センター ホール</p> |